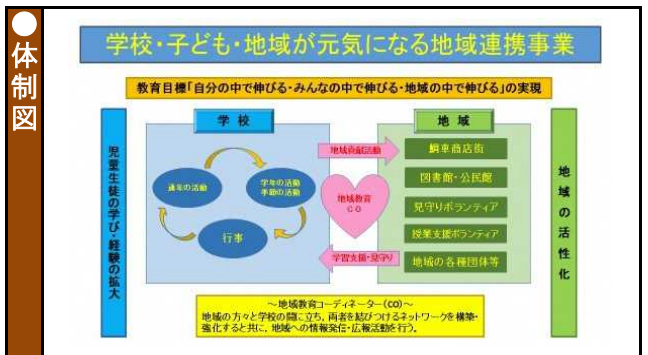


# 学校・子ども・地域が元気になる地域連携事業

新潟県新潟市	●活動名	●関係する学校名
	西特別支援学校地域学校協働本部	新潟市立西特別支援学校

協働活動開始年度	平成 25 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	29 学級	のべ児童・生徒数	111 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
参考URL	http://www.nishitoku.city-niigata.ed.jp						

●連絡先	新潟市教育委員会地域教育推進課	☎ 025-226-3277
------	-----------------	----------------



●活動の概要・経緯

学校の所在する巻地区は、農業を地域の主な産業とし、周辺の拠点として歴史があり、古くからの祭礼や民謡の「巻甚句(まきじょんく)」、郷土玩具の「鯛車(たいぐるま)」など地域にゆかりの豊かな文化資産をもつという特徴がある。特別支援学校は児童生徒の通学区域が広域となるため、なかなか地域に根ざした活動を行いにくいという課題があったが、地元商店街との交流を重ね、地域での体験型の授業を継続する中で、地域と学校のネットワークが強化されてきた。その過程で、「学校と地域の双方にメリットのある活動」こそが児童生徒の経験の拡大や自己肯定感の向上につながり、地域の中の学校としての役割を果たすことにつながると考え、『学校・子ども・地域が元気になる地域連携事業』の取組を実施するに至る。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 一人一人の実態に応じて、じっくりと学習に取り組む特別支援学校の特性を生かし、人とのかかわりを軸として体験の中で学ぶ学習活動が年間を通して展開されている。「さつまいも植え・収穫」や「絵手紙教室」、「巻甚句指導」のような季節ごとの活動、「ランニングの誘導・見守り」や「絵本の読み聞かせ」などの日々の活動がバランス良く配置されている。
- 学校と地域を結ぶネットワークを整備し、学校・地域双方にメリットのある活動を展開している。地元商店街と連携し作品展を行ったり、運動会に向けて振り付けを習った「巻甚句」をまき夏まつりでも披露したりすることで、児童生徒にとってごく自然な形で地域貢献活動を継続して取り入れてきた。様々な分野のゲストティーチャーを招き体験するだけでなく、夏まつりや駅前駐車場の清掃活動等への参加、地域へ出かけ継続して貢献活動を行うスタイルを大切にしている。

### 【実施に当たっての工夫】

- 地域コーディネーターの尽力により、様々な専門性を持つ学校支援ボランティアが増え、活動の幅が着実に広がっている。また、学校と地域の各種団体という線のつながりから、「学校とつながる・子ども達とつながるネットワーク」の強化につながっている。
- 年間の活動計画作成の段階から学校支援ボランティアとの連絡を密に取ることで、活動をバランス良く配置するようにしている。
- 児童生徒の実態に合わせ、見通しを持って活動できるように、学年ごとの活動や季節に合った活動を継続している。
- ボランティアや講師が継続してかかわることで、個別の児童生徒の実態に合わせた支援をしてもらっている。いろいろな立場のボランティアや講師と多くかかわることで、活動を認めてもらえることで自己肯定感を高め、かかわる力を高めている。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 多くの学校支援ボランティアと定期的・継続的に接することで、児童生徒のコミュニケーション・体験の幅が格段に広がることはもちろん、地域の方から認められ、褒められることで自己肯定感の向上にも大きく寄与している。
- 学習支援ボランティアへのアンケートでは90%以上の人から「活動が自分自身の生きがいになっている」「自分の方が元気をもらっている」など肯定的な回答を得ている。
- 商店街の交流館との連携を継続することで、校外の活動場所、学校の活動を知ってもらうPR拠点の確保につながっている。

## ● その他

商店街の他に、西川図書館、巻総合高等学校家庭科部、地元和太鼓集団「越王太鼓」、読み聞かせサークル、高齢者福祉施設、栽培収穫支援農家等、多くの機関・団体と連携・協力体制が構築されている。



でき鯛車商店街交流館囲炉裏



まき夏まつりパレードへの参加(巻甚句披露)